

平成27年度公益財団法人茨城県体育協会事業報告

I 公益目的事業

1 育成・普及事業

(1) 加盟団体育成事業

本県スポーツ振興の基盤となる加盟団体の育成を目的として補助金を交付し、対象となる事業の助成を行った。

加盟団体	対象となる事業	補助限度額	交付件数
市町村体育協会	生涯スポーツを推進する事業等	4万円	42
学校体育団体	スポーツを通して青少年の健全育成を図る事業	10万円	2

(2) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

県民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を早期に実現するため、教育委員会、広域スポーツセンター等と連携・協力のもと、地域住民の身近なスポーツ活動の場として期待される総合型地域スポーツクラブの育成に向けた事業を展開した。

<クラブ設立状況>

区分	26年度まで	27年度	合計
クラブ数	49	1	50
市町村数	37	1	38

- ① 未育成市町村への普及・啓発
- ② 創設・設立クラブへの育成活動、現地訪問等
- ③ 総合型地域スポーツクラブ協議会の育成
 - ア 研修会の開催（県総合型地域スポーツクラブ協議会との共催）
 - 課題別研修会
(期 日) 平成27年7月5日(日)
(会 場) かすみがうら市千代田公民館
(参加者) 39名
 - 総合型地域スポーツクラブ連携フォーラム
(期 日) 平成27年12月6日(日)
(会 場) かすみがうら市千代田公民館
(参加者) 42名
 - イ 総会及び情報交換会
(期 日) 平成27年6月7日(日)
(会 場) 鹿嶋市大野ふれあいセンター
(参加者) 47名
 - ウ 幹事会(4月・6月・9月・2月)



<課題別研修会>



<総合型地域スポーツクラブ連携フォーラム>

(3) スポーツ指導者研修会事業

日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修会であり、指導者の資質向上と活動促進を図るために開催した。

① 茨城県スポーツ指導者研修会（全県研修）

（期 日）平成 27 年 8 月 2 日（日）

（会 場）茨城県農村研修館

（内 容）講演Ⅰ「スポーツ中もしも突然人が倒れたら」

講演Ⅱ「体罰の根絶を目指して～選手の潜在能力を引き出す指導方法～」

（参加者）146 名

② 茨城県スポーツ指導者研修会（県西地区）

（期 日）平成 27 年 11 月 15 日（日）

（会 場）筑西市立生涯学習センター（ペアーノ）

（内 容）講演Ⅰ「スポーツ現場の救急対応について」

講演Ⅱ「指導者に必要なコミュニケーションスキル」

（参加者）139 名

③ 茨城県スポーツ指導者研修会（鹿行地区）

（期 日）平成 28 年 2 月 14 日（日）

（会 場）潮来市立中央公民館

（内 容）講演Ⅰ「指導者に必要なコミュニケーションスキル」

講演Ⅱ「中高年齢のための運動プログラム」

（参加者）85 名

(4) スポーツ指導員養成講習会事業

地域のスポーツクラブやスポーツ教室等において、個々の年齢や性別などの対象に合わせ、専門的な技術指導を行うことのできる「日本体育協会公認スポーツ指導者」の養成を図った。

また、当該資格保有が義務付けられている国体出場監督の資格取得に努めた。

① 共通科目Ⅰ

（期 間）平成 27 年 9 月～11 月

（内 容）NHK通信講座

（受講者）22 名

② 専門科目独自開催（バレーボール競技）

（期 間）平成 27 年 8 月 8 日（土）～27 年 8 月 29 日（土）

（会 場）聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校体育館

（受講者）29 名

(5) スポーツドクターの養成

日本体育協会が開催する「公認スポーツドクター養成講習会」にスポーツ医・科学委員会及び茨城県医師会から 1 名を推薦し、選手の健康管理や競技力の向上をサポートするスポーツドクターの養成に取り組んだ。

（推薦者）吉沢 知宏（筑波記念病院）

(6) 普及・広報事業

本協会や加盟団体、スポーツ少年団の活動状況等の情報を県内外に広く発信し、本県体育・スポーツの振興と県民総スポーツの実現に努めるとともに、当該事業に必要な財源を確保するため、賛助会員の加入促進を積極的に行った。

① 広報誌「体協いばらき」第 48 号の発行 1,150 部発行（平成 28 年 3 月）

② ホームページの運営

③ 賛助会員の募集
 <納入状況>

区分	法人会員		個人会員		計
	法人数	口数	人数	口数	
26年度	185	581	351	397	978万円
27年度	195	667	348	389	1,056万円
増減	10	86	△3	△8	78万円

2 スポーツ少年団事業

スポーツの喜びや楽しさを経験する機会と、より伸びるための研修の場を提供するとともに、競技等を通じて仲間意識と連帯を高め、団員相互の交流活動の活性化を目的に、各事業を実施した。

(1) スポーツ少年団登録

区分	26年度	27年度	増減	全国順位
市町村数	44	44	0	
単位団数	1,440	1,410	△30	第3位
団員数	33,704	32,552	△1,152	第3位
指導者数	8,886	8,986	100	第3位

(2) 各種スポーツ大会事業

- ① 第32回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会
 (期間) 平成27年6月28日(日)～12月13日(日)
 (会場) 常陸大宮市民球場他
 (内容) 軟式野球他14競技
 (参加者) 528チーム, 8,094名
- ② 第51回茨城県スポーツ少年団大会
 (期間) 平成27年7月24日(金)～26日(日)
 (会場) 茨城県立中央青年の家
 (内容) 野外活動
 (参加者) 39名



<第51回茨城県スポーツ少年団大会>

- ③ 全国・関東ブロック競技別交流大会茨城県大会
 (期間) 平成27年6月13日(土)～28日(日)
 (会場) 水戸市民球場他
 (内容) 軟式野球他4競技
 (参加者) 209チーム, 3,151名
- ④ 県外交流事業
 ア 第46回関東ブロックスポーツ少年大会
 (期間) 平成27年8月21日(金)～23日(日)
 (会場) 今市青少年スポーツセンター (栃木県)

- イ 第34回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会
 (期 間) 平成27年7月24日(金)～26日(日)
 (会 場) 多摩市一本杉公園球技場(東京都)他
 (内 容) 軟式野球他4競技
- ウ 第53回全国スポーツ少年大会
 (期 間) 平成27年8月1日(土)～4日(火)
 (会 場) 国立花山青少年自然の家
 (派 遣) 指導者1名, 団員5名
- エ 第37回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
 (期 間) 平成27年8月1日(土)～4日(火)
 (会 場) オロナミンC球場他(徳島県)
 (派 遣) 指導者2名, 団員14名
- オ 第13回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
 (期 間) 平成28年3月27日(日)～30日(水)
 (会 場) 北九州市立総合体育館他(福岡県)
 (派 遣) 指導者3名, 団員12名
- カ 第38回全国スポーツ少年団剣道交流大会
 (期 間) 平成28年3月26日(土)～28日(月)
 (会 場) 鹿児島アリーナ(鹿児島県)
 (派 遣) 指導者1名, 団員9名

(3) 交流事業

① ブロック交流会

(期 間) 平成27年5月10日(日)～28年3月6日(日)

(内 容) 牛久市ブロックほか14ブロックに補助金を交付し, 交流会を実施

② 国際交流

第42回日独スポーツ少年団同時交流

○派遣(期 間) 平成27年7月31日(金)～17日(月)

(派 遣 先) ドイツ・ヘッセン州

(派遣人数) 団員1名(日本派遣団70名)

○受入(期 間) 平成27年8月4日(火)～8月8日(土)

(受 入 先) つくば市

(受入人数) 指導者1名, 団員11名



(派 遣)



(受 入)

<第42回日独スポーツ少年団同時交流>

(4) リーダー育成事業

① リーダー会総会

(期 日) 平成27年4月25日(土)

(会 場) 茨城県武道館

(参加者) 9名

- ② ジュニア・リーダースクール
 - 第1回(期間)平成27年6月27日(土)～28日(日)
(会場)茨城県立中央青年の家
(参加者)20名
 - 第2回(期間)平成27年11月21日(土)～22日(日)
(会場)常陸太田市西山研修所
(参加者)47名
- ③ シニア・リーダースクール
 - (期間)平成27年8月6日(木)～10日(月)
 - (会場)国立中央青少年交流の家(静岡県)
 - (参加者)0名
- ④ 関東ブロックリーダー研究大会
 - (期間)平成27年10月31日(土)～11月1日(日)
 - (会場)茨城県立中央青年の家
 - (参加者)関東各都県 指導者7名, 団員21名
茨城県 指導者7名, 団員6名

(5) 指導者協議会育成事業

- ① 指導者研修会
 - (期日)平成27年8月29日(土)
 - (会場)北茨城市民ふれあいセンター
 - (内容)講演「運動遊びの大切さ - 幼児期からのアクティブチャイルドプログラム -」
日本スポーツ少年団表彰楯授与式
グループディスカッション
 - (参加者)37名
- ② 女性指導者フォーラム
 - (期日)平成28年2月7日(日)
 - (会場)レイクエコー
 - (内容)講演「バスケットを通じてのキャリア作り」
グループディスカッション
 - (参加者)48名
- ③ 関東ブロック指導者研究協議会
 - (期間)平成27年11月7日(土)～8日(日)
 - (会場)マロウドイン大宮(埼玉県)
 - (内容)基調講演「幼児期からのアクティブチャイルドプログラム」
全体会
 - (参加者)指導者2名派遣

(6) 講習・研修事業

- ① スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会
 - (期間)平成27年5月30日(土)～28年2月14日(日)
 - (会場)笠間市他13市
 - (受講者)859名
- ② 認定育成員研修会
 - (期日)平成27年10月17日(土), 11月15日(日)
 - (会場)国立オリンピック記念青少年総合センター
 - (参加者)10名

(7) 広報事業

- ① 「平成27年度茨城県スポーツ少年団要覧」 1,600部発行(平成28年3月)
- ② 会報「茨城のスポーツ少年団」第36号 3,100部発行(平成28年3月)

(8) 諸会議

- ① 委員総会
(期 日) 平成 27 年 4 月 23 日(木)
(会 場) 茨城県武道館
- ② 常任委員会
(第 1 回) 平成 27 年 5 月 12 日(火) 茨城県武道館
(第 2 回) 平成 28 年 3 月 15 日(火) 茨城県武道館
- ③ 指導者協議会運営委員会
(第 1 回) 平成 27 年 5 月 12 日(火) 茨城県武道館
(第 2 回) 平成 28 年 3 月 15 日(火) 茨城県武道館
- ④ 指導者協議会代表者会議
(期 日) 平成 27 年 4 月 23 日(木)
(会 場) 茨城県武道館

3 各種大会事業

(1) 県民総合体育大会兼国民体育大会茨城県大会

県民総参加によるスポーツの振興と本県競技力の向上を図り、心身ともに健全で明朗な県民の育成に努めるとともに、国民体育大会の趣旨に基づき県大会を開催し、国民体育大会での上位入賞を目指し、県代表選手の選考を行った。

また、中学校の大会については、関東・全国大会の予選を兼ねて開催した。

- ① 実行委員会
(期 日) 平成 27 年 4 月 14 日(火)
(会 場) 茨城県市町村会館
(内 容) ・平成 26 年度事業報告・決算について
・平成 27 年度事業計画・予算について
・要項・会場等の確認他
- ② 夏季大会
(期 間) 平成 27 年 4 月 29 日(水)～7 月 26 日(日)
(会 場) 水戸市他 25 市 1 町 2 村
(内 容) 水泳他 39 競技 (成年・少年・中学の部)
- ③ 冬季大会
(期 間) 平成 27 年 10 月 17 日(土)～28 年 1 月 17 日(日)
(会 場) ひたちなか市他 県外 2 市 1 村
(内 容) スケート他 2 競技 (成年・少年・中学の部)

区分	26 年度	27 年度	増減
参加人数	31,305	32,706	1,401



〈県民総体 馬術〉



〈県民総体 相撲〉

(2) 第32回茨城県民駅伝競走大会

公益財団法人げんでんふれあい茨城財団、株式会社茨城新聞社及び一般財団法人茨城陸上競技協会との共催事業として実施し、職域・クラブ・市町村相互の親睦を図るとともに、駅伝競走を通して、本県スポーツの振興と競技力の向上に寄与することができた。

(期 間) 平成27年12月12日(土)

(会 場) 笠松運動公園内周回コース

<参加状況>

区分	職域対抗の部		クラブ対抗の部		市町村対抗の部		計	
	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
第31回	44	295	49	321	22	258	115	874
第32回	43	279	43	285	25	282	111	846
増減	△1	△16	△6	△36	3	24	△4	△28

<成績>

区分	職域対抗の部	クラブ対抗の部	市町村対抗の部
優勝	土浦消防A	RUNS	日立市A
第2位	笠間消防本部A	日立製作所	土浦市
第3位	日立建機A	我流AC-A	水戸市



<土浦消防A>



<RUNS>



<日立市A>

4 競技力向上事業

(1) 国民体育大会派遣事業

国内最大のスポーツイベントである国民体育大会及びその予選会である関東ブロック大会に本県選手団を派遣し、次のような成績を取めた。

① 第70回国民体育大会関東ブロック大会

(中心会期) 平成27年8月21日(金)～23日(日)

(会 場) 埼玉県 18市4町, 栃木県栃木市, 山梨県北杜市

(実施競技) 水泳(水球)他 全31競技 (正式競技32)

(派遣人数) 687名

<通過状況>

区分	実施競技数	通過競技数	通過種別数	通過人数
第69回	32	21	38	175
第70回	32	22	35	176
増減	—	1	△3	1

② 第71回国民体育大会関東ブロック冬季大会

(会 期) 平成27年12月18日(金)～20日(日), 25日(金)～27日(日)

(会 場) 埼玉県上尾市

(実施競技) アイスホッケー 1競技

(派遣人数) 51名

<通過状況>

区分	成年男子	少年男子	選手数
第70回	不通過	不通過	—
第71回	不通過	通過	24

③ 第70回国民体育大会

(結 団 式) 平成27年9月3日(木) 茨城県庁講堂

(会 期 前) 平成27年9月6日(日)～13日(日)

(本大会前) 平成27年9月22日(火)～9月26日(土)

(本 大 会) 平成27年9月26日(土)～10月6日(火)

(会 場) 和歌山県9市12町1村

大阪府1市, 滋賀県1市, 兵庫県1市, 神奈川県1市

(実施競技) 全38競技(正式競技37 特別競技1)

(派遣人数) 399名

(成 績) <総合成績>

男女総合成績(天皇杯得点) 32位 839.0点

(前年度) 31位 852.5点

女子総合成績(皇后杯得点) 25位 488.5点

(前年度) 37位 441.5点

<競技別総合優勝>

・ゴルフ競技

<個人優勝>

・小川 翔太(レスリング 少年男子・グレコローマンスタイル50kg級)

・益子 広幸(ウエイトリフティング 少年男子・スナッチ56kg級)

・益子 広幸(ウエイトリフティング 少年男子・ジャーク56kg級)

・中野 愛望(ライフル射撃 少年女子・B P 40 J W)

<団体優勝>

・バスケットボール競技(少年男子)

・ゴルフ競技(成年男子)

・ゴルフ競技(女子)

・セーリング競技 420級(少年女子)



<バスケットボール競技(少年男子)>



<ゴルフ競技(成年男子・女子)>

④ 第71回国民体育大会冬季大会

ア スケート・アイスホッケー競技会

(会 期) 平成28年1月27日(水)～1月31日(日)

(会 場) 岩手県3市

(派遣人数) 35名

イ スキー競技会

(会 期) 平成28年2月20日(土)～23日(火)

(会 場) 岩手県1市

(派遣人数) 29名

(成 績) <総合成績>

男女総合成績(天皇杯得点) 22位 57.5点

(前年度) 28位 42.0点

女子総合成績(皇后杯得点) 27位 20.0点

(前年度) 24位 22.0点

⑤ メディカルチェック委員会

国体関東ブロック大会・本大会出場及び出場の可能性があるすべての選手・監督を対象に「健康アンケート」を実施し、1,024名のメディカルチェックを行い、必要に応じて、受診勧告や使用薬品等に関する指導・助言を行った。

(第1回) 平成27年7月2日(木) 筑波大学総合研究棟

(第2回) 平成27年9月3日(木) 水戸生涯学習センター分館

(2) 元氣いばらき選手育成強化事業

茨城県の競技力向上とスポーツ振興を目指し、わかやま国体において1,000点以上・20位台前半を目標に、トップアスリートへの支援やジュニア優秀選手へのサポート体制を充実させるとともに、第74回国民体育大会(茨城県)開催へ向け、各競技種別の強化を推進した。

① 種別強化対策

ア 共通強化

(ア) 競技別強化

遠征合宿、強化合宿、遠征練習試合、強化練習会により強化を図った。

強化区分	競技数	種別数	内容
特化S	10	22	6泊7日 3回程度
特化	16	23	5泊6日 3回程度
強化A	17	29	3泊4日 2回程度
強化B	16	31	2泊3日 2回程度
強化C	20	44	1泊2日 1回程度

(イ) 2020オリンピック対策

2020東京オリンピックまでに国体に新規採用される競技種別の強化を実施。

(ウ) 指導者の育成・確保

「指導者養成研修会」「中央競技団体研修参加補助」「スタッフ会議」「事務局スタッフ会議」を実施し、指導者の資質向上や連携、事務局体制を支援した。

イ 少年強化

(ア) 中学生選抜合宿

小・中学生による遠征・合宿・練習試合等を実施した。

(イ) 高校生選抜合宿

高校等または個人による遠征合宿(県外)、強化合宿(県内)、遠征練習試合(県外)、強化練習会(県内)を実施した。(個人指定も可能)

(ウ) ジュニア優秀選手支援

県内の中学3年生及び高校に在籍し優秀な競技実績を有する個人35名を指定し、補助金を交付した。

(エ) 中学生優秀選手支援事業

中学1・2年生の優秀選手43名を指定し、本県代表選手としての自覚を促し茨城国体で活躍する選手の育成を図った。

○中学生優秀選手指定選手証交付式

(期 日) 平成27年6月6日(土)

(会 場) 茨城県教育研修センター

(内 容) 指定選手証の授与

ウ 成年強化

(ア) トップアスリート支援事業

県内を拠点として活動している企業・クラブ・大学・個人、14団体及び個人20名を指定して、成年種別における競技力の向上を目指し、国体において上位入賞を果たすため、補助金を交付した。

(イ) ふるさと出場選手支援事業

県外を拠点として活動している個人20名を指定して、成年種別における競技力の向上を目指し、国体上位入賞を果たすため、補助金を交付した。

② 特別強化対策

ア チームいばらきサポート事業

医師・トレーナー・コーチ等を関東ブロック大会・国民体育大会・強化合宿等に延べ170名を派遣した。

イ 特別推進

本大会入賞種別への「特別推進」として国体得点奨励費を補助金として交付した。

ウ 二次強化

国体関東ブロック大会通過種別への強化として補助金を交付した。

エ 三次強化

国体入賞惜敗種別を中心に次年度の繋がる強化として補助金を交付した。

③ 支援強化対策

ア 表彰事業

(ア) スポーツ指導者特別功労賞

(期 日) 平成28年1月15日(金)

(会 場) ホテルレイクビュー水戸

(内 容) 県内の団体又は地域等においてスポーツの振興に貢献している個人に対する表彰

<被表彰者>

酒井 信 茨城県アマチュアゴルフ連盟会長

岸根 壽英 茨城県ソフトボール協会会長

(イ) 優秀選手等表彰(褒状授与式)

(期 日) 平成28年1月15日(金)

(会 場) ホテルレイクビュー水戸

(内 容) 国際大会・全国大会において優秀な成績を収めた選手・監督、選手の育成強化に尽力した指導者、本協会加盟団体において功労のあった者、体育の普及奨励のために特に尽力した団体・企業及び個人を表彰した。

<被表彰者>

・優秀選手賞

個人 金澤 志奈(中央学院大学)他48名

団体 青丘学院つくば中学校(テニス)他5団体

・優秀指導者賞

根本 康成(県立緑岡高等学校)他4名

・体育功労者賞

鈴木 奉勲(茨城県ボクシング連盟)他8名

・感謝状

株式会社常陽銀行 他3団体

酒井 信

綿拔 剛



(酒井 信 氏) (岸根 壽英 氏)
 <スポーツ指導者特別功労賞>



<褒状授与式>

イ スポーツ医・科学サポート事業

(ア) スポーツ医・科学調査研究事業

スポーツ医・科学委員会を開催し、競技力の向上とスポーツ傷害の防止を図った。

国体健康アンケートの実施など、スポーツ医・科学的支援体制を確立するとともに、「茨城県スポーツ医・科学報告書」を作成した。

(イ) アンチ・ドーピング啓発事業

国民体育大会に参加する選手・監督等を対象に、世界規程に基づいたドーピング防止活動を推進した。

ウ 選手強化本部会議

○第1回(期 日)平成27年4月14日(火)

(会 場)茨城県市町村会館

(内 容)・平成26年度事業報告・決算について
 ・平成27年度事業計画・予算について他

○第2回(期 日)平成28年3月11日(金)

(会 場)茨城県教育研修センター

(内 容)・平成27年度事業報告・決算について
 ・平成28年度事業計画・予算について他

エ 第70回国民体育大会茨城県選手団「解団式並びに表彰式」

(期 日)平成27年10月27日(火)

(会 場)県庁講堂他

(内 容)・第70回国民体育大会総括

・団旗返還

・表彰式

<国民体育大会賞>

個人 ライフル射撃競技 中野 愛望(県立取手第一高等学校)他62名

団体 バスケットボール競技 少年男子 他10競技団体14種別

入賞競技団体 茨城県アマチュアゴルフ連盟 他8競技団体

<感謝状>

宝薬品株式会社 他22団体

・健闘を称える会

5 体協会館管理事業

笠松運動公園内にある「体協会館」は、各競技施設と隣接した練習環境にあるメリットをアピールした広報等により、新たな利用者の開拓とリピーターの確保に務めた。

<利用者数>

区分	26年度	27年度	増減
利用団体数	54	39	△15
利用人数	1,881	1,579	△302

6 指定管理事業

茨城県から指定管理者として指定を受け、堀原運動公園・笠松運動公園の管理運営を行い、各施設の特色を活かしながら効果的な活用と利用促進に努めた。

(1) 施設貸与事業

① 利用者数

区分	26年度	27年度	増減
堀原運動公園	196,535	151,000	△45,535
笠松運動公園	890,174	772,510	△117,664
計	1,086,709	923,510	△163,199

② 施設の利用促進事業

ア 笠松スポーツリーダーバンク

笠松運動公園を利用したスポーツ活動を推進し、生涯スポーツの普及や競技人口の拡大を図るために指導者を登録し、主催事業において積極的に活用することにより、事業内容の充実を図った。

<登録人数>

競技	人数	競技	人数
水泳	10	フィットネス	11
アイススケート	31	クライミング	9
		計	61

イ 笠松アイススケート体験事業

学校教育の一環としてアイススケートを体験することにより、興味・関心を高め、アイススケート競技人口の拡大やスケートリンクの認知度の向上と利用促進を図った。

(期 間) 平成27年11月9日(月)～28年3月18日(金)

(会 場) 笠松運動公園屋内プール兼アイススケート場

(参加者) 幼児、児童、生徒 2,942名 引率教員 293名 計3,241名(48校)

③ 運動公園だよりの発行

施設の利用案内や主催事業の紹介、健康に関する記事などを掲載し、写真やイラストにより見やすく親しみやすい広報誌を作成し、ホームページに掲載したり、近隣小中学校、市町村公民館・図書館等に配付することにより、県民がスポーツを楽しむにあたっての有益な情報の提供に努めた。

○堀原運動公園 (年6回発行 5月・7月・9月・11月・1月・3月)

○笠松運動公園 (年4回発行 6月・9月・12月・3月)

④ 施設ボランティアの活用

主催事業の受付・案内や公園内の清掃・除草作業等への協力により、利用者への良質なサービスや環境美化に配慮した公園づくりを進めることができた。

○堀原運動公園 登録人数 42名

○笠松運動公園 登録人数 35名

⑤ 利用者アンケートに対する回答

アンケートや電話等で寄せられる利用者からの意見や要望について把握し、利用者の視点に立ったサービスや施設の整備、事務の改善等、より魅力ある公園づくりを意識した運営を行った。

○堀原運動公園 アンケート箱を設置して調査を実施(回答116件)

○笠松運動公園 アンケートを実施(回答124件)

(2) 受託事業 ニューいばらきいきいきスポーツday!

生きがいのある生活と活力ある生涯スポーツ社会を形成するため、スポーツ活動の機会を提供することにより、県民のマイスポーツの確保と継続的なスポーツ実践を支援した。

○堀原運動公園

(期 日) 平成 27 年 11 月 7 日(土)

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) ニュースポーツ (スカイクロス, グラウンドゴルフ, フライングディスクゴルフ)
少年サッカー教室

(参加者) 199 名

○笠松運動公園

(期 日) 平成 27 年 11 月 7 日(土)

(会 場) 笠松運動公園

(内 容) ニュースポーツ (スポーツクライミング, 親子エアロビックダンス, アイススケート, タグラグビー)

(参加者) 614 名



＜堀原運動公園：グラウンドゴルフ＞



＜笠松運動公園：アイススケート＞

(3) 普及事業

堀原・笠松運動公園それぞれの施設の特色を活かした主催事業を展開し、スポーツやレクリエーションに親しむ機会を提供することにより、競技人口の拡大と施設利用の促進に繋げた。

○堀原運動公園

① 武道教室

(期 間) 平成 27 年 4 月 18 日(土)～平成 28 年 3 月 19 日(土) (年間 40 回程度実施)

(会 場) 堀原運動公園

(内容及び参加者)

教室名	対象	参加延人数		
		26 年度	27 年度	増減
柔道	小・中学生, 親	1,530	1,722	192
剣道	小・中学生, 親	1,442	1,466	24
弓道	一般	1,468	2,022	554
空手道	小・中学生, 親	1,323	1,458	135
なぎなた	小・中学生, 親, 一般	961	972	11
少林寺拳法	小・中学生, 親	543	1,057	514
計		7,267	8,697	1,430

② 堀原スポーツ教室

ア 親子エアロビックダンス教室

(期 間) 平成 27 年 5 月 14 日(木)～平成 28 年 3 月 17 日(木)

3 期 (1 期につき 8 回) に分けて実施

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) 3 歳～就学前の幼児を対象とした親子エアロビックダンス

(参加者) 1～3 期 延べ 76 組 192 名

イ リフレッシュヨガ教室

(期 間) 平成 27 年 4 月 20 日(月)～平成 28 年 3 月 14 日 (月)

3 期(1 期につき 10 回)に分けて実施

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) 女性限定のリフレッシュヨガ

(参加者) 1～3 期 延べ 180 名

ウ ボディーメイク体験教室

(期 間) 平成 28 年 3 月 3 日(水), 9 日(水), 16 日(木) 3 回実施

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) 女性限定の有酸素運動と体幹トレーニング

(参加者) 1～3 回 延べ 115 名

③ 武道体験教室

(期 間) 平成 28 年 2 月 1 日(月)～平成 28 年 3 月 10 日(木)

(6 武道 7 教室について各 3 回実施)

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) 柔道, 剣道, 空手道, 少林寺拳法, なぎなた, 弓道

(参加者) 延べ 114 名

④ 武道演武披露会

(期 日) 平成 28 年 3 月 19 日(土)

(会 場) 堀原運動公園

(内 容) 柔道, 弓道, 剣道, 空手道, なぎなた, 少林寺拳法

(参加者) 約 400 名



<武道教室 なぎなた教室>



<親子エアロビックダンス教室>

⑤ 日本武道館共催事業

ア 地域社会武道指導者研修会

(ア) 地域社会指導者研修会(剣道)

(期 間) 平成 27 年 8 月 1 日(土)～2 日(日)

(会 場) 堀原運動公園 武道館大道場, 会議室

(内 容) 日本剣道形, 審判法, 剣道基本技稽古法等

(参加者) 140 名

(イ) 地域社会武道指導者研修会(空手道)

(期 日) 平成 27 年 8 月 29 日(土)～30 日(日)

(会 場) 堀原運動公園 武道館大道場, 会議室

(内 容) 基本の立ち方, 指定形, 演武のポイント等

(参加者) 112 名

イ 地方青少年武道錬成大会(少林寺拳法)

(期 間) 平成 27 年 7 月 11 日(土)～12 日(日)

(会 場) 堀原運動公園 武道館大道場, 会議室

(内 容) 剛法, 柔法, 基本の技(突き・蹴り), 演武の視点等

(参加者) 186 名

○笠松運動公園

① 笠松スポーツフェスティバル

(期 間) 平成 27 年 5 月 17 日(日)～10 月 18 日(日) 全 5 回

(会 場) 笠松運動公園

(内容及び参加者)

内容	参加延人数		
	26 年度	27 年度	増減
陸上競技記録会	2,910	2,200	△710
少年サッカー大会	1,742	1,669	△73
少年ソフトボール大会	1,278	1,704	426
テニス大会	506	367	△139
スポーツクライミング	527	518	△9
ソフトバレーボール大会	368	236	△132
少年卓球大会	92	57	△279
少年ドッジボール大会	748	469	△35
少年バドミントン大会	77	141	64
応援・一般来園者	15,266	14,137	△1,129
競技役員・補助員	671	531	140
施設の一般開放	600	602	2
計	24,785	22,631	△2,154

<ファイナルデーイベント>

(期 日) 平成 27 年 10 月 18 日(日)

(内 容) ミニコンサート, よさこいソーラン, 森のクラフト, 模擬店等



<スポーツクライミング>



<少年サッカー>

② 笠松スポーツ教室

(期 間) 平成 27 年 5 月 8 日(金)～28 年 3 月 27 日(日)

(会 場) 笠松運動公園

(内容及び参加者)

教室名	参加者数		
	26 年度	27 年度	増減
気功体操	40	43	3
らくらくストレッチ&エアロ	749	75	1
はじめてのヨガ気功体操	62	61	△1
健康フィットネス	180	180	0
はじめてのフラダンス	75	70	△5
親子フラダンス	68	100	32
キッズジャズダンス	68	76	8
親子エアロビックダンス	144	44	△100
小学生エアロビックダンス	74	44	△30
リフレッシュヨガ	46	60	14
骨盤ストレッチ	65	75	10
サッカー	60	69	9
スポーツクライミング	39	41	2
テニス	98	81	△17
アイススケート	901	862	△39
水泳	1,097	1,087	△10
ランニング	—	53	53
計	3,091	3,021	△70



<キッズジャズダンス>



<ランニング>

③ 「安藤美姫」小学生スケート教室

(期 日) 平成 27 年 9 月 23 日(水)

(会 場) 笠松運動公園屋内プール兼アイススケート場

(参加者) [午前] 28 人 [午後] 38 人

II 収益事業

1 施設貸与事業

アマチュアスポーツ以外の催物、興行及び営利・宣伝を目的とする催物等、収益事業となる施設貸与について、利用の促進や新規開拓に努めた。

2 売店等事業

利用者のニーズにあわせて飲料等の自動販売機等を設置し、サービスの向上を図った。

Ⅲ 法人運営

県、県教育委員会、加盟競技団体、学校体育団体及び市町村体育協会と連絡調整をとりながら、理事会、評議員会等を開催し、円滑な協会運営に努めた。

1 理事会

- (1) 第1回 (期 日) 平成 27 年 5 月 13 日(水)
(会 場) 茨城県武道館
(内 容) ・平成 26 年度事業報告及び決算について
・学識経験理事候補者及び監事候補者の推薦について
・平成 27 年度定時評議員会の開催について
- (2) 第2回 (期 日) 平成 27 年 6 月 11 日(木)
(会 場) ホテルレイクビュー水戸
(内 容) ・会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
・専門委員会委員の選任について
・倫理委員会委員の委嘱について
- (3) 第3回 (期 日) 平成 28 年 3 月 17 日(木)
(会 場) 茨城県武道館
(内 容) ・事務局組織規程の一部改正について
・平成 27 年度補正予算について
・平成 28 年度事業計画及び予算について
・平成 27 年度臨時評議員会の開催について

2 評議員会

- (1) 定 時 (期 日) 平成 27 年 5 月 28 日(木)
(会 場) 茨城県武道館
(内 容) ・平成 26 年度事業報告及び決算について
・理事及び監事の選任について
・評議員の選任について
- (2) 臨 時 (期 日) 平成 28 年 3 月 25 日(金)
(会 場) 茨城県武道館
(内 容) ・平成 27 年度補正予算について
・平成 28 年度事業計画及び予算について
・評議員の選任について

3 専門委員会

(1) 総務・財務委員会

- ① 第1回 (期 日) 平成 27 年 9 月 14 日(月)
(会 場) ホテルレイクビュー水戸
(内 容) ・委員長及び副委員長の互選について
・次期指定管理（平成 28 年度～32 年度）の申請について
・県体育協会会館に係る今後の維持管理について
・賛助会費の現状について
- ② 第2回 (期 日) 平成 28 年 3 月 1 日(火)
(会 場) ホテルレイクビュー水戸
(内 容) ・指定管理者の指定について
・中期運営計画の数値目標及び進行管理について
・県出資法人等経営評価の結果について
・基本財産から一部を除外することについて
・賛助会費について
・資産管理について

(2) 普及委員会

- ① 第1回 (期 日) 平成27年8月11日(火)
(会 場) 茨城県水戸生涯学習センター分館
(内 容) ・委員長及び副委員長の互選について
・平成25・26年度の報告について
・平成27年度の協議内容について
- ② 第2回 (期 日) 平成28年3月8日(火)
(会 場) 茨城県水戸生涯学習センター分館
(内 容) ・市町村体育協会の状況調査の結果について
・情報提供の事例について

(3) 競技力向上委員会

- ① 第1回 (期 日) 平成27年7月1日(水)
(会 場) 茨城県庁共用会議室
(内 容) ・平成27年度国体強化について
・平成28年度強化事業について
・平成31年度茨城国体に向けて
・「ポスト31年」強化について
- ② 第2回 (期 日) 平成28年2月29日(月)
(会 場) 茨城県水戸生涯学習センター分館
(内 容) ・平成28年度選手強化対策の方向性について
・選手強化費の配分について
・今後の課題について

(4) スポーツ医・科学委員会

- (期 日) 平成28年3月3日(木)
(会 場) ホテルレイクビュー水戸
(内 容) ・平成27年度事業報告について
・平成28年度事業計画(案)について

4 その他

(1) 関東地区体育協会等連絡協議会

- ① 第1回 (期 日) 平成27年6月5日(金)
(会 場) 岸記念体育会館会議室(東京都)
(内 容) ・平成26年度決算報告及び平成27年度予算(案)について
・アスレティックトレーナー協議会等の状況について
・スポーツ庁創設に向けた組織の在り方について
・派遣法による県職員の派遣, 引き上げに対する支援状況について
・未成年者のドーピング同意書について
・公開競技に係る経費負担について
- ② 第2回 (期 間) 平成27年11月9日(月)～10日(火)
(会 場) ホテル談露館(山梨県)
(内 容) ・スポーツ少年団登録者処分基準の策定に伴う対応について
・スポーツ少年団団員減少の対応について
・マイナンバー制度への対応について
・2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の取り組みについて